

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言について広島県は、6月20日をもって解除されることが決定されました。

本市における人口当たりの新規感染者数は、4月以降、県内でも極めて低く抑えられており、改めまして、市民の皆様、事業者の皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。

緊急事態宣言は解除されますが、リバウンドや変異株の状況も心配されます。感染を確実に抑え込むため、感染防止対策を継続して頂きますようお願いいたします。

本市の新型コロナワクチン接種については、現在、三次地区医師会のご協力の元で、高齢者等の接種を着実に進めているところです。第1回目の接種率は本日までで、約6割となっています。

また、64歳以下の方についても、6月28日に接種券を一斉発送する予定であり、まずは基礎疾患のある方から予約を受け付け、7月20日からは、一般の方の受付を開始する予定です。

接種方式については、かかりつけ医の「個別接種」に加え、今後は「集団接種」方式も導入し、三次中央病院等を会場として休日にも接種を行い、希望される方が1日でも早くワクチン接種ができるよう取り組んでまいります。

引き続き、市民の皆様の安全・安心な暮らしを取り戻すために全力を尽くしてまいりますので、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和3年6月18日

三次市長 福岡 誠志